

留学先：マカオ大学

氏名：白川咲香

こんにちは。1月から始まったマカオでの1年間の留学生活も今月がラストになります。というわけで月例報告書も今回が最後となりました。そしてマカオでもようやく肌寒くなり、半袖を着なくて済むのがうれしいです。（思えば1月下旬～2月上旬以外の1年間ほとんど暑かった。。四季の大切さをひしひし感じました。）12月...といえばクリスマスシーズンなのですがマカオでは日本ほどあまりクリスマスを感じない気がします。そして街中などで（私の寮でも）ハロウィンの飾りつけのままクリスマスの飾りつけをしているような場面も見かけます（笑）



今回は今月マカオで行われたイベント、1年間総まとめマカオおすすめスポット、“留学”についてシェアしたいと思います。

【Macau Light Festival 澳門光影節】12/2-31

12月もマカオではイベントが盛りだくさんです。私は参加できなかったのですが、マカオ国際映画祭やマカオ国際パレードなども開かれたので、マカオに観光に来る際はマカオ観光局のHPのチェックを忘れず！

マカオライトフェスティバルは12月の約1か月間マカオ市内の様々なエリアで開催され、プロジェクションマッピングやイルミネーション、屋外コンサートなどが行われます。アプリもリリースされたり、写真をハッシュタグをつけてシェアすると限定ギフトがもらえたりするそうです。私はあまり時間がなく、プロジェクションマッピングのみしか見ることができなかったのですが、そのプロジェクションマッピングも期間によって上映される映像が違い、私が見たときはベルギーのチームのものでした。想像していたよりも大規模で投影時間も長く、音楽の迫力も相まってとても圧倒されました。帰国前日のテスト終了後、その日の上映ラストのものをぎりぎり見に行ったので、もっとはやく情報収集して他のエリアやほかのチームの映像も見なかったなあと少し後悔しました。港澳珠大橋（香港、マカオ、珠海を結ぶ橋）が開通したためもあるのかフェスティバルのエリアはとても混雑していました。

プロジェクションマッピングエリア：聖ポール天主堂跡、聖ドミニコ教会

イルミネーションエリア：ラザロ地区、カモンエス公園、南湾周辺（コンサート）、タイパハウスなど

【1年間総まとめ！マカオおすすめスポット】

マカオは2つの島、3つのエリア（マカオ、タイパ、コロアンとマカオ大学のエリア（中国本土））で構成されているのですが、報告書でも何回も書いたように、本当に本当に小さいです。なので1年間いたらもうほぼ知らない場所はないとっていいほどです。（笑）

➤ 町歩き編

1. 日本人も関係しているマカオのトレードマーク！？ @聖ポール天主堂跡のファサード
2. 夜の雰囲気はまさにヨーロッパ @ラザロ地区
3. フォトジェな小道 @Portuguese street と Love Street
4. カラフルな町並み @Coloane



➤ IR編 ※カジノ入場は21歳以上

1. 花男Fのラスベガスの1シーン！？噴水と龍のショー @Wynn Macau
2. ゴンドラから眺める噴水ショー無料！？フローラルな内装と展示品 @Wynn Palace
3. ボタニカルな広場とミニ水族館 @MGM Macau
4. 気分はパリジェンヌ？ミニエッフェル塔と豪華絢爛な内装 @The Parisian Macau
5. THIS IS THE MACAU なダイヤモンドショー @Galaxy Macau
6. ゴンドラで優雅にベネチア観光！？ @The Venetian Macau
7. あの Zaha 建築がマカオにも @City of Dreams



【留学について考えたこと】

➤ 留学先の選び方

私は留学先を選ぶのに本当に悩んで、締め切りぎりぎりまでの留学先を候補先を書くか迷いました。そして現在、申請時に第一希望であったマカオでの1年間の留学を経験して、留学先選びや留学先での過ごし方について感じたことがあったのでシェアしたいと思います。

留学先選定時（2年夏）におけるわたしの留学先に求める条件は、

- ① 自分のしたい勉強を学べる、開講科目が充実しているかどうか、その地域でしか学べない科目があること
- ② 安全でありキャンパスが整理されていること

が私の最重要な2大条件でした。しかしマカオで留学生活を送っていく中で留学先選び、もっと考えればよかったなと思うこともたくさんありました。

それは留学先の食べ物と住環境です。たしかにマカオには美味しい食べ物はありますが、高いお金を出せばの話です。庶民が安く手軽に食べられる吉野家やラーメン屋さん、定食屋さんなどがどんなに恋しかったか。。私は留学先を考えるときに食べ物について全く考えていませんでした。マカオ大学では寮で1週間に15回学食を食べられるのですが、これが、本当の本当に美味しくなくて（現地の生徒も不味いと言っている。。。）メニューもほぼ毎週一緒に食事が提供される時間も限定されるし、味付けも変わったものが多く、食事バランスもとれてないようなものでした。4つの寮でかたまりになっていて、そのかたまりが3つあるのですが、そのかたまりによって寮食を提供する業者が違い、私の寮のかたまりは、ワースト不味い寮食でした。スーパーで食材を買って自炊すれば済む話ですが、寮費に寮食代も含まれてしまっているの、自炊するのはもったいないなあと感じてしまいます。私は食べるのが好きなので食に関しては毎日つらかったです。1日1食になったり何も食べなかったり、本当に不規則な食生活でバランスもとれず、1年間たくさん体調を崩してしまいました。

住環境についても食べ物同様とてもつらかったです。マカオ以外の地域であれば、寮がどうしても嫌になった場合、学外に住むという選択肢があると思いますが、マカオは小さいので家賃がとても高く学生が住めるような物件はないのに加え、留学生は必ず寮に住まなければならない、寮も学校側に勝手に割り振られ、学部生はルームメイトも選べず、どのようなルームメイトが適しているか（生活リズムが合うか）などの事前調査もありません。やはり勉強するにあたって衣食住はとても大事な要素だと思います。ルームメイト同士話し合っ規則を決めたり、我慢したりでなんとかやっていけると思うのですが、本当に生活リズムや性格が合わない人と住むのはとてもストレスに感じ、後期の半年は本当につらかったです。自分の部屋は心身ともに一番ゆっくりくつろげる場所だと思うのですが、後期は部屋にいるのがとてもストレスで夜中まで図書館で過ごし部屋はただ睡眠とシャワーを浴びるだけの場所という生活をしていました。これから留学先を選ぶ予定のある人はネットや本で調べるのに加え、実際に留学に行った先輩からたくさん話を聞いてよく考えて留学先を選んだ方がいいと思います。

➤ 授業の取り方

留学を終えて感じたのですが、わたしは授業を通して友達が多くできたと感じました。なので難しそうとか、たくさん履修するとついていけないのではないかと、忙しくなりそうというような理由で履修する授業の数を減らすのはもったいないなあと感じました。確かに難しいし、中間・期末テストは必ずあるし、たくさん履修すると自分の自由な時間も減るし勉強も大変になるけど、限られた時間で本気で勉強できるし、授業で得たものも大きいと感じることができるだろうし、せっかくマカオ大学に来ている意味を感じられる気がします。履修する科目にいる生徒はほとんどがその分野を専門とする生徒なので知識の差などひしひし感じると思いますが、授業外で自分で勉強したり、関連する書籍や論文をよんだりネットで

調べたりなど努力すればなんとかなります。なので授業は単位認定の有無にかかわらず興味あるものは履修したほうがよかったなあと思いました。

➤ 留学先での過ごし方

留學生活は限られていて本当にあっという間に過ぎていってしまいます。留學中の計画はきちんと立て、早めに計画することをおすすめします。またきちんとスケジュール管理し、イベントの日程や申し込みもチェックし、毎日の記録をどんな手段でもいいので残した方がいいなあと思いました。あとは授業の資料や留學にかかわる書類はきちんと整理し、留學にもっていくものはできるだけ最小限にし、ペーパーレス化すること、どんなデバイスからもアクセスできるようにすること、お金の管理をきちんとすることを徹底して、自分からなんでも動く！というのを心がければよりよい留學生活が遅れるのではないかと思います。

国際地域学部1期生として初めての長期留學者として、マカオ留學に関する情報をこの報告書を通して少しでもシェアできたらと思い毎月様々なことを書いてきました。毎月の報告書で私自身もその1か月の振り返りができて次の月どう過ごすか考えられてよい機会だったと思います。今回で報告書は最後ですが、つたない報告書を12か月読んでいただきありがとうございました。